



## 自分自身の「心と体の状態」に向き合いました。

7月の暑い時期に入り、生徒には少し疲れが蓄積してきているようです。8月からの夏休みに入る前に自分自身の心と体の状態に向き合ってもらうため、各種保健講話が行われました。

7月8日（水）に全学年を対象として心の健康に関する保健講話が校内放送にて行われました。自分の心の状態にきちんと気づき、調子を崩しそうになっても適切な対処行動がとれるよう心の健康について学ぶことを目的としています。せんだいこども食堂代表の門間尚子氏を講師として招き、『ここに寄り添うために必要なこと』というテーマで約1時間お話をいただきました。人間関係やコミュニケーション、からだの成長やこころの成長について等、具体的な例が盛り込まれたものでとても分かりやすい内容でした。



## 「青年期の生と性」について考えました。

7月7日（火）に2年生を対象として性教育の保健講話が体育館で行われました。「生と性」についてこれまでの人生や現在の自分を振り返り、将来の夢に向かって歩いて行くための生と性に関する自己決定能力を高めることを目的としています。しらゆりクリニック院長の高屋りさ氏を講師として招き、『青年期の生と性～これからの自分との出会い～』というテーマで約2時間お話をいただきました。男女の特徴や役割、子どもを産むこと、性に関する薬について等、婦人科の医師としての経験談を交えたもので大変興味深い内容でした。また、お腹に赤ちゃんがいる時の重さや妊婦さんの大変さを感じるため疑似妊婦体験が行われ、体験した生徒は重さや動くことの大変さに驚いた様子でした。

### <生徒の感想>

- 男女では体や考え方に違いがあることが分かったので、相手の気持ちをよく考えて生活していきたいです。
- 女性が妊娠することのリスクや大変さについて知ることができました。
- ほんの僅かな判断の誤りやすれ違いで将来に大きく影響することがわかりました。
- 性についての考え方や関心がよりいっそう深まったので良かったです。



## 3年生対象に進路講話が行われました。

7月14日（火）に3年生を対象として進路講話が行われました。「夏休みを前に受験生として考えなければならないこと」というテーマで、本校の進路指導部の教員が中心となり約1時間話をしました。夏休みの時間の使い方や、効率の良い勉強方法等、3年生にとってはこれから益々受験モードに切り替えていくために大変参考になる内容でした。



## 「現役医師と対話する会」が行われました。

7月13日（月）に医学部医学科を第1志望としている3年生を対象として、現役医師と対話する会がオンラインにて行われました。現役医師と対話することで、医療従事者としての使命感をつくるのに役立てるとともに、医療の実際について知ることを目的としています。講師は、東北大学病院麻酔科勤務の岩崎夢大医師と坂総合病院リハビリテーション科勤務の千葉茂樹医師です。生徒は、現役の医師と対話するという大変貴重な経験をし、積極的に質問等を行うことで、とても有意義な時間を過ごしたようです。



### <生徒の感想>

- 医療現場について、今まで知らなかったことを知ることができて良かったです。
- 自分の中で少し下がってしまっていた勉強へのモチベーションが回復しました。
- 志望する大学に合格するために、時間をうまく作ってひたむきにやっていきたいと思います。

## 少しずつ以前の学校生活が戻りつつあります。

6月から学校生活が再開され、約2ヶ月が経とうとしています。コロナウイルス感染症対策を中心とした「新しい学校生活様式」となり、生徒及び教職員一人一人が意識・行動し生活しています。そんな中、校内ではLHRに体育館で球技を楽しむ様子や、放課後残って学習する様子、グラウンド脇で友人同士昼食をとる様子等、少しずつ以前の生徒の様子も垣間見るようになってきました。

